



日本のカレッジT

THE SECOND ENTRANCE CEREMONY

UCLAにイエール、ハーバードにコロンビア……大学のロゴをあしらったTシャツは、街に溢れている。とはいえ、それらはほとんどがアメリカのもの。ここ日本にだって、個性の光るカレッジTがあるはずだ。各地の大学から集まったTシャツを、BEAMS Tディレクター・桑原健太郎とともに考察する。

撮影 平本泰淳
photography Taijun Hiramoto
スタイリング 松平浩志
styling Kouichi Matsuhira
編集 文 今野壘
text Rui Konno

※価格表記のないものはすべて非売品

Just a T-shirt.



青山学院大学
箱根駅伝3連覇を成し遂げた名門校の一枚には、王者の風格を感じさせる一言が。「本当に強いからしょうがないですね(笑)。メッセージの深さが気持ちいいです」。¥3,600 / 青山学院購買会 tel 03-3409-4401



立教大学
(ミス)のドライメッシュボディを使った機能的な作り。フロントには校章のユリのワンポイントをレイアウト。「ぱっと見カレッジTっぽくないのが新しいですね」。¥2,593 / 立教オンラインショップ tel 03-3985-2768



関西学院大学
創立した1989年当時の表記に由来する英字が主体のプリント。「変わったボディを使っていますね。せっかく文字表記がおもしろいからカタカナとかにしたら今っぽいの」。¥1,760 / 関西学院大学生協同組合 tel 0798-53-5150



千葉工業大学
オープンキャンパス時に学生スタッフが着用するTシャツ。オリジナルキャラクター、「チバニー」がプリントされている。「落ち着いた色のボディに「チバニー」のワンポイント刺繍とかにしてみたらどうでしょう?トラッドなTで」。



早稲田BIG BEARS
全日本大学選手権大会でも常に上位に食い込み強豪アメフト部。プリントはボールのシボまで再現するというこだわり。洗練されていない、土臭くて努力とか根性が似合うデザインがいいですね。¥2,500 / スタジオ21 tel 075-384-1400



明治大学
スポーティな筆記体のロゴを配したシンプルでデザインだが、フロックプリントにこだわりのこだわりがある。「個人的にすてきだと思います。B-BOYがオーバーサイズで着ても似合いそう」。¥1,426 / 明大グッズネットショップ tel 03-5639-1853



慶應義塾大学
福澤諭吉が創立した、説明不要の名門校。「ネイビーにベンのロゴだけゴールドっていうのがオシャレ。シティボーイが街中で普通に着ているのがイメージできますよね」。¥2,315 / 慶應義塾大学グッズ http://keiogoods.jp/



福岡大学
「エネルギーで行動的な大学」という創立時から続く精神を書道家・西尾真紀の揮毫で表現した一枚。「Active」だけのデカ版にしたら意外とカッコいいかも」。¥1,389 / 福岡大学サービス情報プラザ tel 092-865-8260



山梨学院大学
東日本大震災のチャリティーとして同大陸上部が製作したTシャツ。同部OBの漫画家、高橋しののイラストを配している。「海外から見たらクールだったりするんじゃないか。寮生活がなんとなく思い浮かびます」。



立教大学 Rushers
立教は日本のアメフトのルーツ校。創部は1934年とその歴史は長い。「せっかいですし、ロゴももっとアメフト、アメフトしててもいいかも。元祖としての骨太さをもっと感じたいです。個人的には」。¥2,400 / スタジオ21 tel 075-384-1400



中央大学
青色と赤の組み合わせを基調にした一枚には、版大のバックプリントが。「C」のマークはTシャツだけでなくキャップとかにも映えそう。程よく手作り感がありますね」。¥1,700 / 中央大学生協グッズ係 tel 042-674-3037



東京大学
キャンパスの名物でもある銀杏が同大のシンボルマーク。「服としてはなかなか着づらい色ですね……。最高学府なのにそれをむやみに主張してないところは好感が持てますけど」。¥2,100 / 東京大学消費生活協同組合 tel 03-3816-3971



同志社大学
ロイヤルパープルとホワイトは創立者の新島襄が学んだ米国・アーモスト大学と同色のスクールカラー。「フロックキーとかクラックプリントとかにしても合いそうですね」。¥1,320 / 同志社生活協同組合良心館ブック&ショップ tel 075-251-4431



東京農業大学
スクールカラーの松葉緑をイメージしたボディにロゴを配したシンプルデザイン。「ボディの色がいいですね。自然とか、農業とかっていうイメージにもマッチしてます」。¥1,200 / 東京農業大学生協 tel 03-3427-5712



武蔵野美術大学
各分野で活躍する才人を輩出し、毎年約4万人が来場する芸術祭でも知られる人気校。「さすが美大という感じ。フォントも洒落てるし、あんまりカレッジTでは見ないブラックボディに白ロゴっていうのもハイセンスです」。



関西学院大学 FIGHTERS
全国学生チームで最多の全国タイトルを保持する古豪チーム。「今、ラグランスリーブはファッション的には着づらいけど、基本はやっぱり部活に入っている人用なんじゃないか」。¥3,300 / スタジオ21 tel 075-384-1400



法政大学
UVカットのポリエステルボディを使ったドライな着心地のハイスペックTシャツ。「ロングスリーブとかでサッカーのゲームシャツみたいにして今のストリートっぽくないですか?」。¥1,800 / エイチユー tel 03-3264-5086



早稲田大学
伝統校らしい、深いデザインにスクールカラーが映える一枚は米国製の生地を日本国内で断裁・縫製したもの。「カレッジと言えばこれ」っていう感じがいいですね。校風が出る、行った記念で欲しくなるTシャツ」。¥3,519 / Uni.shop125 tel 03-5291-7491



関西大学
青中に配した「KAISERS」は同大の体育会の統一名称で、日本では珍しい取り組み。「フロントのロゴの配置は今の旬にも通じる意匠。前後のフォントの違いが新鮮いですね」。¥2,139 / 関西大学生協同組合購買店 tel 06-6368-7536



専修大学
大学名の書はかつて同大の文学部教授を務めた書家、手島右衛門によるもの。「ベーシックだけど、もう一歩攻められる気がします。個人的には逆配色がオススメです」。¥1,436 / 専修大学購買会 tel 044-911-1097



日本大学芸術学部
篠山紀信やホンマタカシなど、名だたる写真家がかつて籍を置いた名門学部。デザインを同学部教授が行ったTシャツはビームスに作成を依頼したものの、「プリントも普通の大学じゃなかなか出ないアイデアですね」。



桑原健太郎
原宿、とんちゃん通りで回るウィンドディスプレイが目印になっている名店、BEAMS Tを主宰。ボディの種類やプリントの技法、ストリートのトレンドに至るまで、Tシャツへの造詣はどんなVネックよりも深い。

母校のTシャツなんて見たこともなかったです
無地にオートプリント、イラストにグラフィック、あらゆるTシャツを網羅する気鋭ショップを取り仕切る桑原氏。そのTシャツの愛は並みじやなく、当然、若かりし頃にカレッジTにも手を染めていた。「自分自身昔は古着で買っていましたし、今もBEAMS Tではカレッジ調のデザインを色々仕込んでいます。トレンドが変わっても、なかなかカレッジものはやっぱり人気ですね。そんな桑原氏でも、この国内の大学となるとさすがに付随範囲外になっちゃいます。「日本のカレッジTっていうのは意識したことがなかったけど、こんなにたくさんあるんですね。学生時代も自分の大学のTシャツなんて見たこともなかったです(笑)。見比べるとやっぱり美大や芸術系の大学は特に完成度が高い。日常でも着れそうです。色々とキーワードのやぶったものもありませんけど、衝撃で言えば山梨学院大を超えるものはないですね(笑)。いずれのTシャツも各校の特色が現れたもの。特にスポーツが盛んな大学はそれを押し出したものも多い。「僕、昔から好きで箱根駅伝を見てるので、今回の青山学院大のものには印象的です。本当はもっと他校と接戦になっただけなんですけど。あ、駅伝の話です。いつも各作Tを輩出して来た彼らしく、感心する一方で各校のデザインには伸び代も感じてるんです。一歴のある学校が多いから、他のデザイナーとか企業が介入してデザインを見直したのも面白いですよね。メーカーとのコラボとかした絶対ハズレです。……ダメだ、僕が考えるところでも売れるデザインを目指してや。職業病ですね(笑)」。C